

2026年 2 月 27 日

九州電力株式会社

玄海原子力発電所操業差止訴訟の第54回口頭弁論が行われました

— 証人尋問を実施 —

本件は、玄海原子力発電所 1 ～ 4 号機の操業の差止等を求めて、当社と国を相手として第 1 次（2012年 1 月 31 日）から第 51 次（2025年 5 月 8 日）にわたり、提訴されたものです。

本日、佐賀地方裁判所において標記の口頭弁論が行われ、当社側証人に対する尋問が行われました。なお、次回（2026年 3 月 13 日）も証人尋問が行われます。

今後とも、訴訟において、当社の主張を十分に尽くし、原子力発電所の安全性等についてご理解いただけるよう、引き続き努力してまいります。

以 上



ずっと先まで、明るくしたい。

「快適で、そして環境にやさしい」

そんな毎日を子どもたちの未来につなげていきたい。

それが、私たち九電グループの思いです。